

橋北中だより

BRIDGE ~あの橋をわたるとき~

『学校通信』

No. 16

令和7年3月7日

Small school, Big chance!



橋北中 HP

卒業式で伝えた事…令和6年度 第78回卒業式 式辞より（抜粋）

…さて、卒業生のみなさん。あなたがたは、入学当初から、橋北中学校の掲げる「SmallSchool BigChance」のもと、心を磨き、日々相手の思いや考えを受け止め、その中で自分の意思を伝えながら、目の前の様々な課題を、新しい発想で乗り越えてきました。

本年度、五月に実施した修学旅行では、まだ3年生になって間もなかったにもかかわらず、計画に基づいた、見ていて安心できる行動がとれており、学ぶべきところと楽しむ時間の切り替えが、しっかりとできていた皆さんの姿に、とても感心したことを覚えています。中でも、人事院で本校卒業生の村山 大介さんから、人生や生き方についてのお話を聞かせていただけたのは何よりの宝物となりました。本当にたくさん歩いた修学旅行であったにもかかわらず、元気に、そして精力的に行動する皆さんの姿に、若いエネルギーを感じ羨ましくも感じた三日間でもありました。

中学校三年間で蓄えてきた皆さんの力は、その後も、様々な場面で多くの人を魅了してくれました。小学生や地域の方にも参加していただけた体育祭では、しっかりとリーダーシップを発揮し、そこには、キラキラと輝いている皆さんの姿がありました。また、何より文化祭でのあなたがたの合唱は、本当に質が高く、皆さんの気持ちが歌声に乗り、見る人・聞く人のすべてに伝わるものでした。その眩しい姿は、今日後ろで皆さんの姿を見ている在校生にとっても、憧れであり、良き指標となったと思います。

また、二学期には、今年の日展で2回目の特選を受賞された洋画家の山内 大介さんによる3日間の特別授業が行われました。そこには、日常では経験することができない学びと、貴重な出会いがありました。皆さんがクラスに掲示した「繋がり」というテーマを振り返ってみても、本当に**様々な人や学びとの「繋がり」があった**のではないのでしょうか。

そんな皆さんもいよいよ今日、この橋北中学校を巣立つことになりました。

これから未来に向かって羽ばたかれるみなさんに、ぜひ今日伝えたいお話があります。



それは、新しく一万円札の顔となり、数年前に NHK の大河ドラマ「青天を衝け」でも取り上げられた渋沢 栄一に纏わるお話です。ドラマの中で、まだ若く、自分のことばかり考えて問題を起こしていた栄一に対して、母親の「畷」が放ったセリフに**「それが正しいかどうか、おまえのここ（胸）さ聞いてみな！。あんたがうれしいだけじゃなくて、みんなが嬉しいのが一番なんだ！」**というものがありました。未だにとっても印象に残っています。

この3学期の始めに、皆さんには「これから橋北中は、**自分を含めたみんなが幸せでいられるために考え、行動できるようにしていこう！**」という話をしたのを思い出してください。

自分以外の人の幸せを願って行動するようになれば、社会全体が良くなっていくのは当然のことです。そして**社会が良くな**

れば、結果的に自分も、より幸せになることができます。これからの社会を生き抜いていくみなさんにとって、このウェルビーイング的な考え方は、様々な課題を解決していく上においても、とても重要になってくることを覚えておいてください。

これまでみなさんが身につけてきた力の中で、一番大切なのは、おそらく学力ではないはずです。「相手の立場や気持ちに寄り添う力」や「人のために自然と行動できる姿」といった、**数字では表せない力こそが、これから皆さんが生きていく世界において、何よりも大切になってくる**のではないのでしょうか。

誰かのために尽くすことの真の価値は、物質的なものでは計れないものです。他人のために何かをすることで、自分自身の成長が促進され、人と人との繋がりやコミュニティの形成がうまれます。また、そうした行為は**自分の存在価値や生きがいを見つける手助けになる**ことでしょう。

どうかこれから先、みなさんも、多くのことにチャレンジしながら、己れを磨き、そうした中で相手の立場に立って考え、行動する機会を大切に、これまで以上に自分の価値を高め、豊かな人生を歩んで行ってほしいと思います。

ここ、ふるさと橋北地区で学んだことや、この素敵な仲間たちと過ごした喜びを胸に刻んで、これから先にある、輝かしい未来に向けて一歩ずつ歩いていってください。この三十五名に出会えたことを心から嬉しく思うとともに、立派に巣立っていく皆さんのことを誇りに思います。みなさんの今後の活躍を祈念しています。

令和七年 三月六日

橋北中学校長 丹羽 浩也



2月26日（水） 3年生最後の奉仕作業



少し寒さが緩んできた2月終盤の午後、3年生が最後のご奉仕とばかりに、校内の様々な場所で清掃や修復活動をしてくれました。長年の雨風で汚れていた正門も、白い色で塗り直したりもしてくれました。何十年後かには、きっと良い思い出になっていることでしょう。

卒業したばかりですが、ここはいつまでもあなた方の母校です。いつでも顔を見せに来てくださいね

3月2日（日） 橋北地区防災フェスタ

昨年に引き続き、橋北中の防災部の生徒も一緒に運営側として参加しました。非常食の炊き出し、AED講習、初期消火、起震車体験、無料飲食コーナーなどのお手伝いだけでなく、今年は防災部の生徒が企画立案した防災部コーナーも担当しました。防災部コーナーでは、サイコロの目の数を進み、そこでクイズに答えるなど、すごろくとクイズが混ざった新しい企画だったこともあり準備などでかなり苦労していましたが、今日参加した小学生や家族連れなどにはとても好評な感じでした。最後の放水訓練にも参加し、地域の方と一緒に放水を行うなど、災害時に活かすことができる貴重な経験になりました。ところで、この日の橋北地区防災フェスタは、例年と少し雰囲気は違っていました。そう！防災部や地区防災のCM撮影が入っていたからです。詳細については後日お知らせすることになりますが、防災部や橋北地区の活動を、より多くの人に知っていただく良い機会になればよいですね。

